

織物の産地として発展してきた桐生市には、ものづくりの伝統が息づいている。

繊維産業のみならず機械金属工業を中心とした製造業でも、類いなき技術を有し、優れた製品やユニークな独自商品を開発、生産している事業所が数多く存在する。

そこからつくり出されたものに注目し、「ものづくりのまち桐生」の魅力を再発見したい。

「Room of KIRYU. プロジェクト編」として、桐生のモノづくり技術とデザイン感性をマッチングさせて開発した製品の数々を連続して紹介する2回目。

「Room of KIRYU. プロジェクト」の詳しい内容はHPをご覧ください。http://roomofkiryu.com

エッグスライステーブル/Egg slice table

野中一弘 × Rewire



建具界のジョブスが造る奇想天外なタマゴ

純和風の印象が強い建具の技術に現代風のデザインを加え作製したタマゴ型の家具。日本の代表的な文様の一つである市松模様もぴったりと嵌った、見てもよし、使っても楽しいテーブルである。

テーブル部分を製作した野中一弘氏は、障子や欄間、戸などの製造を行う建具職人。主に建具の施工を手掛ける傍ら、その技術力とデザイン力を活かしたオリジナル木製品も造っている。台座部分を製作したRewire 大塚昭裕氏は、旧織物工場を活用したアトリエで活動する家具メーカー兼プロダクトデザイナー。布・木・金属・紙・ロープなど様々な素材を用いた斬新な商品を開発している。

テーブルは「寄木」の技術を用いて、市松模様のタマゴ型に削り出した。寄木とは、異なる色や種類の木材を隙間無く並べ接着させ、その廻りを削ることで幾何学模様の木製品にしていく技法である。タマゴ型の造形は、単純な球体よりもはるかに難しく、美しい曲線ラインは職人の技と勤による精巧な手作業によって模られた。台座にはステンレス板を用い、タマゴが宙に浮いているようなデザインになっており、重厚かつ複雑な曲面のテーブルをしっかりと支えつつ、極限までシンプルさを追求した。

タマゴ型のテーブルトップが回転スライドすることで、内側に収納スペースが現れる仕組みになっており、リモコンなどちょっとした小物入れとして使うことができる。

製品仕様：L912mm×W595mm×H460mm 製品に関するお問合せ 桐生商工会議所 0277-45-1201

企業名 総合寝具 乃なか
野中一弘 (建具製造・木工)
所在地 〒376-0023 桐生市錦町1-9-20
電話 0277-44-4696

×

企業名 Rewire
所在地 〒376-0013 桐生市広沢町5-1187
電話 0277-46-7959
URL http://rewire-df.com